

第 2 期加古川市まち・ひと・しごと創生総合戦略の概要

1. まち・ひと・しごと創生総合戦略（以下、「総合戦略」）とは

人口減少に歯止めをかけ、将来にわたって活力を維持し、安心して暮らし続けられる地域社会を実現するための取組の指針となるもの。

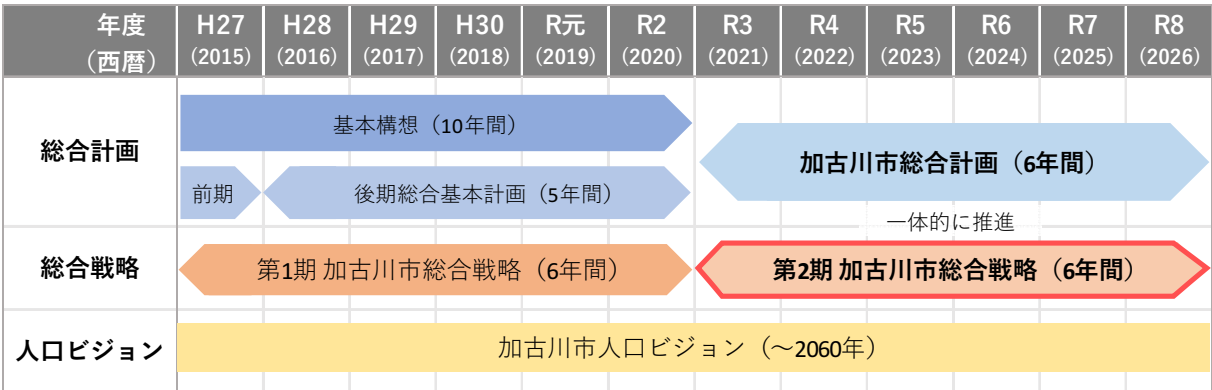
2. 加古川市総合計画との関係

総合計画は、まちづくりの中長期的な方向性を示したものであり、日常生活に関わる様々な行政サービスを始めとして、福祉や教育の充実、都市基盤の整備、産業の振興など、本市が取り組む全ての施策の方向性を示すもの。

総合戦略は、総合計画で定める施策のうち、人口減少克服と地方創生に主眼を置いた施策の体系化を図り、将来の人口展望を見据え、関連する施策を連携させながら、重点的に推進していくための方向性を定めたもの。

3. 計画期間

令和 3 年度から令和 8 年度までの 6 年間



※第 2 期加古川市まち・ひと・しごと創生総合戦略より

4. 第2期総合戦略の概要（※第2期加古川市まち・ひと・しごと創生総合戦略から抜すい）

1. 解決すべき重点課題

- 合計特殊出生率※の改善
- 20～44歳の転出超過数※の改善

2. 重点施策

- 子育て施策のさらなる充実
- しごと（働く場）の創出
- 地域活力のさらなる向上

“子育て”と“しごと”にフォーカスを当てた施策体系とすることで、総花的に施策を構成する総合計画との差別化を図る

3. 基本目標及び施策体系

第2期加古川市総合戦略のメインターゲットを20～44歳と子どもたちとし、“子育て”と“しごと”にフォーカスを当てることで、“ひと”、“しごと”、“まち”を軸とした基本目標及び施策体系に見直しました。

基本目標	“ひと”	結婚・出産・子育ての希望をかなえるまち (1) 安心して結婚・出産できる環境をつくる (2) 安心して子育てができる環境をつくる (3) 魅力的な教育環境をつくる (4) 子育てと仕事の両立を支援する
	“しごと”	いきいきと働けるまち (1) 若者等の就労を支援する (2) 地域企業の成長を支援する (3) 起業・創業の促進や企業誘致を図る (4) 多様な働き方を支援する
	“まち”	住みたいまち、行きたいまち (1) 安全・安心なまちをつくる (2) 暮らしやすさを実感できるまちをつくる (3) 楽しめるまちをつくり、人の流れをつくる (4) 地域連携・官民等連携により元気・魅力を高める (5) 市のイメージアップや認知度の向上を図る

4. 目指す方向性「未来への活力があふれるまち」

第1期加古川市総合戦略の検証及び第2期加古川市人口ビジョンにおける将来の目標人口を踏まえ、「未来への活力があふれるまち」を目指す方向性として掲げ、全体の数値目標を新たに設定します。

全体目標指標	基準値	目標値
合計特殊出生率	1.44(※) (2019年)	1.61 (2026年)
20～44歳の転出超過数 (2015～2017年は外国人を含まない)	3,562人 (2015～2019年累計)	1,430人 (2021～2026年累計)

(※) 市区町村別の合計特殊出生率は、国勢調査が実施される5年ごとに公表されるため、市が独自に算出したものです。